



# 九品仏小学校同窓会だより

## ◎年度総会のお知らせ

平成二年の年度総会を左記のように開催いたします。各期幹事の方、日頃のご協力ありがとうございます。

同期の方への連絡・名簿の整備・会費の納入勧誘ご苦労様です。

今年の年度総会の日程が決まりましたのであらかじめお知らせいたします。

### 記

日時 六月十七日午後一時～  
場所 九品仏小学校

尚、三十七期の皆さんは当日卒業アルバム  
の配布があります。是非ご出席下さい。



No. 3  
2. 5. 14  
発行

世田谷区奥沢ハル十二ー一  
世田谷区立九品仏小学校同窓会  
TEL 〇三七〇三〇四五八  
発行人 会長 富田浩司

## ◎「同窓会だより」によせて

副会長 宮本 忠

同窓会も、歩みはじめて、三年目になり、今年卒業の第三十七期生七十七名を新入会員として迎え、総数四千二百六十九名となりました。各期幹事、並びに会員各位のご尽力により、名簿も徐々にではありますが、進んでおりますが、まだまだ空欄が目立っています。「会員相互の親睦を図ると共に母校の発展に寄与することを目的とする」と云う同窓会活動に、皆様方の御協力、御支援を、特にお願ひ致します。空欄が少なくなると云うことは、財政面でも、協力を得られることと思っております。

又先号を配布致した所宛先不明にて、返送されて来た方も多数有りました。転居の時はご面倒でも、クラス幹事又は同窓会事務所（九品仏小学校）にご通知下さい。

尚「同窓会だより」も、三号となり年々皆様の御協力にて発行部数も増えて、今号も

三五〇〇部発行となりました。早く全同窓会員に、配布できる様にしたものです。

「同窓会だより」を、皆様により親しんでいただけるように、編集発行してまいりましたが、紙面内容を充実すると同時に、より近くに会員相互が、存在できるように、クラス会、同期会、当時の思い出等、又御批判、御意見等も掲載したいと思えます。投稿をお待ちします。

九品仏小学校は区内では、小規模校ということですが、先生方の御努力で、内容は充実していて、展覧会などは、感心するばかりです。今年十一月十七日・十八日に開催。是非、足を運び一日を楽しんで下さい。

### ● 思い出の九品仏小

小池 寅二郎

教え子で、女流画家の高柴さんの個展に誘われ、旧懐を温め合っているうちに、今年になって同窓会誌への原稿依頼の電話を頂き、続いて同窓会長の富田浩司氏からも電話を頂き、はるか昔をしのび筆をとってみました。私が九品仏小にお世話になったのは、昭和二十九年から三十五年までの七年間で、戦後の混乱がようやく治まって、池田首相が「もはや戦後ではない」と云った頃、そして浅沼

社会党書記長が刺殺されるなどまだまだ戦後を引きずってみんな我武者羅に働いていた頃でした。

苦しかったけど、子どもも、先生も目が生き生き輝いていました。そんな中で今だに頭から消えない思い出がいくつもあります。その二、三を記してみたいと思えます。

● 教え子A子の家は貧しく服装も粗末でした。満足に食事もしない、という話も耳にしました。私は或る日その子にコッペパンを二、三個そつと渡しました。ところが翌日子を背負った母親が学校に見えて、「子どもがパンを持って帰ったが、あれは何ですか」と問い詰められました。物腰は柔らかで、控え目の言葉に私は返す言葉もありませんでした。貧しくとも人様の世話にならない。という気概のようなものを感じました。現世の取れる物なら何でも式の世相を想い隔世の感があります。このような人々が今の日本を築いたと信じております。

● 今の環八が当時道幅もせまく桜の並木があった頃、よく多摩川へ子どもをつれて行きました。多摩川の土手は今のように道路ではありませんでした。双葉学園を過ぎると川原まで花の畠や温室村でした。画の時間、理科の時間と何かにつけて出かけました。現在でしたら不可能に近いでしょう。校門を出ることすら手続がありむずかしく、父母も多摩川へなど遊びに行くより授業を、と云うで

しょう。それに現在は危険が多過ぎます。● 初代の校長湯浅先生は、花の好きな先生でした。教師には細かい事は云わず伸び伸びと仕事をさせてくれました。

次の末永校長は碁の好きなおらかな人柄の校長でした。或る年、疑似セキリ事件がありました。大さわざになり夜学校で開いた説明会は学校糾弾の場でした。残念ながら学校を支え最善策を、という意見は聞かれませんでした。この事件は思った程のことはなく、隔離された子ども達も二、三日で帰宅しました。結局病名もはっきりせず、保健所が大事をとり過ぎたのではと思うようになりました。九品仏小から中学の理科の教師を二十七年退職後現在教育センターのコンピュータ研究室で、区内の先生や子どもと接していますが、何かと話題になる現代の子ども、秘められた豊かな可能性は昔と少しも変わっていない、と心強く思っている此頃です。



### ◎ 母校の近況

教頭 丸山 延子

例年になく早い桜の花の下で七十七名の卒業生を送り、可愛い五十六名の一年生を迎え児童総数三百七十四名、職員三十二名で、平成二年度をスタートしました。

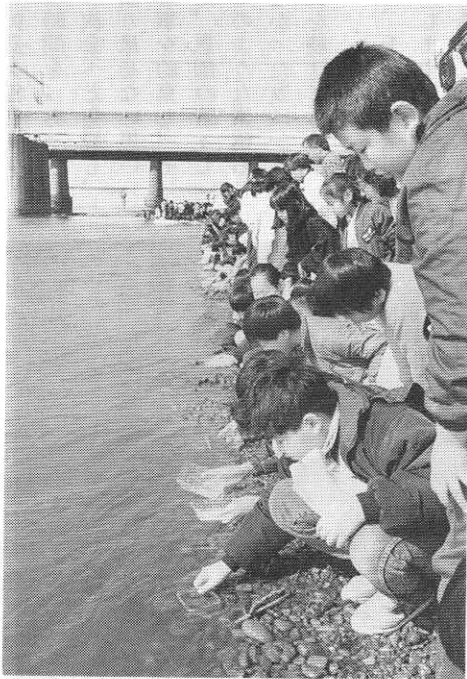
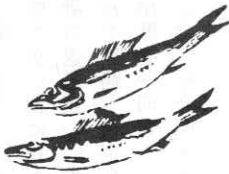
昨年度をふり振り返り近況をお知らせ致します。

#### △ 九品仏子供文化祭▽

特別活動主任 高久 仁

子どもたちが、自主的に計画し、実行する児童会活動には、年間にいくつか大きな活動があります。昨年度、初めて行われた『九品仏子ども文化祭』は、その中でも大規模なものでした。二学期から児童代表委員会、各委員長、学級会等で何回も話し合い、児童会会長の奥君を中心に準備を進めてきました。子どもの文化 遊びを通して、他学年との交流を図るのがねらいの一つにあり、一月二十七日の当日は、校庭も含め全ての施設を開放し、盛大に行われました。ライブハウス・おぼけやしき・校内オリエンテーリング等、四十二の出店の中、友だちと交代しながら楽しい時間をすごす子どもたちでした。

九品仏子供文化祭



サケの放流

#### △ サケの飼育▽

十二月の初めに福島県木戸川で生まれたサケの卵、約百二十匹を玄関の水槽で育て始めました。水をとりかえたり、卵からふ化する時出る泡をとったり飼育委員会の子どもたちはよく世話をしてくれました。暖冬のせいか五個位ふ化しませんでした。二月には約五センチ位に成長し、銀色に輝き、パーマークもくっきりつき、立派に魚らしく育ちました。登校してくる子どもたちは水槽におでこをくっつけて見ていましたが二月十八日に親子合わせて八十名程、区主催の壮行会に参加し多摩川に放流してきました。北太平洋への一万五千kmの旅を終えて四年後には何匹もどってくるでしょう。

## クラス会だより

### 三十年ぶりのクラス会

三期 市川 正之

昭和三十一年三期生として卒業し、三十一年が経過している事を同窓会名簿の作成で知り、これを機に六年三組恩師飯田晃先生を囲んで友と語り合う場を平成元年十一月十八日に自由ヶ丘「磯勢」にて開催する事が出来ま



した。出席者は男子十七名、女子十名全員の三十数年ぶりの近況報告は三時間を「あっ」という間に過ぎてしまい、二次会へと発展し、幼い頃の思い出に花が咲き語り尽せない思いを恩師の退職祝いに再会する事を約束し、それぞれの家路へと別れました。恩師の若々しさに出席者一同驚くと共にこのような素晴らしい出会いを今回出席できなかった友に一人でも多く会えるようクラス会を続けて行く事を誓い合いました。

和歌山、兵庫、栃木、埼玉、千葉、神奈川県より参加してくれた友に感謝します。切掛と成った同窓会役員の皆様に御礼申し上げます。

### なつかしい顔

四期 有賀(小林)美津子

クラス会をしましょうということになったけれど、卒業して三十二年。前回のクラス会は、二十三年前にやったきり。住所の分からない人が多く、日時と場所だけは決めたものの、何人集まるか前日まで分からない始末でした。七月十六日、一時、不安と期待の入り交じった気持ちで、九品仏駅へ降り立つと、集まっていたなつかしい顔が。全く分からない顔も……。ウェルバンという小さな喫茶店に落ち着き、自己紹介、近況報告、昔話……アツという間の三時間。誰言うとも



なく「このまま分かれてしまうのは勿体ない。」と、駅周辺を歩き、学校を見学し、自由ヶ丘へ。勿論全員二次会へ。今度は、お酒が入り、ますます盛り上がり、話が尽きることなく、来年の再会を約束しました。残念なことに担任だった湯山先生は、亡くなられてしまいました。でも昭和三十一年の六年一組は、今も健在です。



クラス会を開きましよう

五期 酒井(志村)和子

「素直にのびよ」 私のサイン帳に、今は亡き高橋喬次先生に、こう記していただいてから、三十年以上の月日がたちました。

卒業後、クラス会を何回か開きましたが、各々の青春を過ごすのに忙しかつたためか、いつの間にか立ち消えになりまして、懐かしく思い出すことはありません、友人に会ったり、母校を訪ねたりということは、ほとんどございませんでした。

三年前、有志の方々の並々なぬ御力により、同窓会が結成されましたのを機に、クラス会の輪が沢山できていると聞いております。私共でも、九品仏に住む人達にクラス会開催をの声が出ておりますので、この同窓会紙上をお借りいたしまして、皆様にお声をかけさせていただきますたく存じます。

同窓会関係各幹事の方々の御奉仕に感謝申し上げますと共に、微力でございますが、お手伝いさせていただこうと思っております。



係では、身近な話題、同期会の様子など、皆様からの投稿をお待ちしております。

平成元年度 同窓会収支明細

収入

項目	金額	摘要
前期より繰越金	548,005	77名
37回生入会	77,000	
維持会費	332,050	
総会祝金	5,000	
利息	347	
合計	962,402	

支出

項目	金額	摘要
通信費	66,132	会報
消耗品費	5,241	
会議費	6,080	
記念品費	8,240	
印刷刷費	54,000	
総会外費	33,595	
雑費	12,000	地区会館使用料
	200	
小計	185,488	
次期へ繰越	776,914	
合計	962,402	

次期繰越金内訳 とみん銀行預金 167,364  
郵便貯金 609,550

平成元年度 監査報告

平成元年度同窓会収支明細書の監査を実施したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成2年4月9日

会計監査 福井郁子 ㊞  
会計監査 田中雅子 ㊞

### 維持会費納入方法

会運営を円滑にするため、是非ともよろしくお願い申し上げます。

#### 一・維持会費

年額一口二〇〇〇円  
(但し二十才未満会員は免除可)

規約上の原則は上記の通りですが、二口以上の納入も、又、未成年会員の納入も、可能な範囲でよろしくお願いします。

#### 二・特別寄付

年額 随意  
「同窓会」設立に伴う活動資金の充実のために維持会費の上乗せのとして是非協力下さい。

#### 三・納入方法

・振込先 九品仏小学校同窓会 口座  
郵便振替口座 東京0-22010  
又は、東京都民銀行 九品仏支店  
普通0313454

(郵便振替の際には用紙裏面の通信欄に卒業年度又は期別を記入して下さい)

### 平成元年度の活動報告

会長 富田 浩司

今年度は「会報」第二号を可能な限り会員にお届けする様、特に第一期〜十期の皆さんには、本部から個別直送とし、他の期も各期幹事の方を通じ、お届けしました。名簿の整備状況の差等により、完璧とはいきませんでした。が、今後共、努力していきたいと思っております。そして、同窓会への維持会費や寄付の納入も増加しております。ありがとうございます。引き続きご支援お願いいたします。

5月12日 「会報」第二号(二八〇〇部)

第一期〜十期生へは個別送付。

他は維持会員・期幹事宛に配布。

5月13日 常任幹事会開催

年度総会運営準備、会報配布方法等他、年度方針を検討。

6月18日 「平成元年度年度総会」開催

役員・各期幹事・36期卒業生等を含め約九〇名出席。

年度報告の他、役員改選を実施、前役員全員再選が承認された。

2年3月 37期生への挨拶文作成配布

3月24日 「第37回卒業式」出席

上記の他、学校側役員、山本校長(名誉会長)、丸山教頭(副会長)との随時打合せの他、高久・赤松両教師(同窓会担当)との打合せも実施した。又、浅子前校長(顧問)への報告、連絡も随時行ないました。

### 1年度各期活動報告

- 23期2組
- 28期2組
- 35期3組
- 7月 4期1組
- 11月 3期2組

### クラス会開催予定

2年6月16日 2期1組

6月17日 1期合同(総会後)

### 計報

横岡和雄五代校長(平成元年一月四日) 慎んで御冥福をお祈り申し上げます。

### 編集後記

明るく、楽しく、読み易くをモットーに第三号を発刊致しましたが、如何がでしたでしょうか。

投稿下さった先生方、各期の皆様、御協力下さった方々には深くお礼申し上げます。

同窓会広報部一同